

夏に多い感染症にご注意を！

子どもを中心に流行する感染症ですが、大人の方にも感染しますので、しっかりと予防を行いましょう。

ヘルパンギーナ

病原体 コクサッキーウイルスなど
感染経路 飛沫・接触感染
潜伏期間 2～4日(最大6日)
主症状 突然の高熱(38℃～40℃)
咽頭痛
口腔の奥に小水疱

咽頭結膜熱(プール熱)

病原体 アデノウイルス(主に3、7型)
感染経路 接触・飛沫感染
潜伏期間 5～7日
主症状 高熱(39～40℃)
咽頭炎(のどの腫れと痛み)
結膜炎(目の充血、目やに、痛み)

手足口病

病原体 エンテロウイルス、コクサッキーウイルス
感染経路 飛沫・接触感染
潜伏期間 3～5日
主症状 口腔内や手掌、足背等に水疱性発疹
発熱

流行性角結膜炎(はやり目)

病原体 アデノウイルス
感染経路 接触感染
潜伏期間 8～14日
主症状 角膜と結膜の炎症、まぶたの腫れ、
目やに、流涙

その他の今注意してほしい疾患

RSウイルス感染症

病原体 RSウイルス
感染経路 飛沫・接触感染
潜伏期間 通常4～5日
主症状 鼻水、咳、発熱
乳幼児期に初感染した場合の症状が重く、特に生後6か月未満児では重症化することがある。

腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111など)

病原体 腸管出血性大腸菌
(ベロ毒素を産生)
感染経路 経口感染
潜伏期間 3～5日
主症状 激しい腹痛と下痢(水溶性、血便)
嘔吐、発熱

伝染性紅斑(リンゴ病)

病原体 ヒトパルボウイルスなど
感染経路 飛沫・接触感染
潜伏期間 4～15日
主症状 微熱、風邪症状
両頬や手足に生じる赤い発疹

百日咳

病原体 百日咳菌
感染経路 飛沫感染が中心(接触感染)
潜伏期間 通常7～10日
主症状 発作性の連続性の咳
ヒューと音を立てて息を吸う

感染経路

感染経路の遮断が重要です

飛沫感染

咳やくしゃみ会話などで飛んだしぶき(飛沫)に含まれるウイルスを、鼻や口から吸いこむことによる感染です。

接触感染

病原体に汚染されている人の皮膚や粘膜への直接的な接触と、ドアノブやおもちゃ、便器等汚染されている物に触れることによる間接的な接触があります。

経口感染

病原体に汚染された物を飲食したり、感染者の接触した物を口に含んだり、汚染された糞便を処理する時など間接的に口に入ってしまうことによる感染。

感染症（拡大）を予防するために

- ・ 液体石けんと流水で、よく手を洗いましょう。トイレやオムツ交換などの後、食事や調理の前には、しっかりと手を洗ってください。
- ・ タオルの共有は避けましょう。
- ・ 便や嘔吐物を始末する際は使い捨て手袋を使い、直接手で触れないようにしましょう。
- ・ 長い時間を過ごす保育室や汚染しやすいトイレや手洗い場は、日々の清掃で清潔を保つことが大切です。
- ・ ドアノブやテーブル、おもちゃ、便器などは、水拭きや消毒を行いましょ。
- ・ 厳しい暑さから食欲不振や寝不足など、体調を崩しがちになります。バランスの良い食事を取り、十分な睡眠をとりましょ。
- ・ 感染症の症状（発熱、下痢、発疹、目や耳の炎症、咳、鼻水、化膿創など）の有無を確認しましょ。
- ・ いつもと違う症状があれば、早めに受診しましょ。

プール遊び

- ・ 簡易ミニプール（ビニールプール等）でも、塩素消毒を徹底しましょ。日光や遊泳者による汚れ等で消費されてしまいますので、遊離残留塩素濃度0.4mg/L以上を保持できるように、こまめに水質検査をしましょ。
- ・ プールの前後は、シャワーで頭から足先まで十分に洗いましょ。特にお尻は丁寧に洗いましょ。手洗い・うがいは行いましょ。
- ・ 水着やタオルの共有は避けましょ。
- ・ 腹痛や下痢症状がある場合は、プール遊びを控えましょ。
- ・ 排泄が自立していない乳幼児には、個別のタライ等を用いてプール遊びを行い、他者と水を共有しないようにしましょ。



-感染症発生動向調査結果の還元-

県北保健所のホームページでは、感染症の発生状況を毎週発信しています。地域の流行状況を踏まえ、感染対策にご活用ください。

- 全数報告疾患・・・発生数
- 定点把握疾患・・・感染症週報、疾患別グラフ



県北保健所 HP
リンク

-感染症発生時の報告-

平成17年2月22日付け「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（令和5年4月28日一部改正）に基づき、報告をお願いします。



県北保健所 HP
リンク